小牧市環境都市宣言(案)に対するパブリックコメントに提出された意見等の概要及び提出された意見に対する市の考え方

No	意見（原文）	意見に対する市の考え方
1	私たちのまち小牧市は、濃尾平野の北東に位置し、尾張丘陵から濃尾平野へと広がる地形と天然・人工の多様な河川、ため池や小牧山、市の東部に広がる丘陵、更にそこに住む様々ないきものなど、先人より引き継がれた豊かで美しい自然に恵まれています。	ご意見をいただいた部分については、先人により守り受け継がれてきた環境は変わっていないため、平成15年に制定されている小牧市環境基本条例の前文及び市制50周年に行った小牧市環境都市宣言から変更はしません。
2	宣言の骨格が、「地球温暖化」、「資源循環」、「自然共生」だと思いますが、文章の中でその順番がまちまちであるのが気になります。あわせてもいいのでは。 いま、私たちが生きる地球では、温室効果ガスの排出による地球温暖化 や異常気象の増加、プラスチックごみの海洋流出、森林の減少、環境破壊による生物種の減少など、環境問題が深刻化しており、人類の生存が脅かされる事態に陥っています。	ご意見をいただいた部分については、現在の環境の課題について、温室効果ガスの排出が原因の温暖化や異常気象、気候変動による森林減少、森林減少や海洋プラスチックによる環境破壊、環境破壊による生物種の減少というように因子から結果、結果が因子となるように順に説明をつないでおります。 また、2021年2月18日アントニオ・グテーレス国連事務総長が行った国連環境計画（UNEP）の報告書に関するオンライン記者会見で「生物種としての人類の生存を脅かす」その原因と対応策について述べられていることから「事態に陥っている」とまでは言及していないため事務総長の記者会見での発言を引用しています。
3	宣言の骨格が、「地球温暖化」、「資源循環」、「自然共生」だと思いますが、文章の中でその順番がまちまちであるのが気になります。あわせてもいいのでは。 私たちは、その原因が日常生活や事業活動など身近な活動に起因していることを改めて認識し、市民一人ひとりが二酸化炭素排出量の削減、ごみの減量化、環境に配慮した行動をとるなどの積極的な取り組みによって、人類だけでなく多様な生物にとって良好な環境を保全し、未来のこどもたちに豊かで美しい地球を残していかなければいけません。	市民一人ひとりができる行動を記載しており、ご指摘のとおり前述の課題の順番に合わせ、二酸化炭素の排出量の削減、ごみの減量化の順に修正します。 また、「積極的に取り組」むことで人を含め「多様な生物にとって良好な環境を保全」していかなければならないことが目的のためこの記載にしています。
4	宣言の骨格が、「地球温暖化」、「資源循環」、「自然共生」だと思いますが、文章の中でその順番がまちまちであるのが気になります。あわせてもいいのでは。 一．カーボンニュートラルを実現し、持続可能なまちを目指します 一．資源循環を推進し、環境と産業が調和するまちを目指します 一．良好な環境を保全し、自然と共生するまちを目指します	ご指摘のとおり前述部分の課題の順に対応する順に変更します。